

プレスリリース

2025 年 10 月 14 日
日光ケミカルズ株式会社

**日光ケミカルズ
日本油化学会関東支部とコロイド界面化学討論会にて
若手賞をダブル受賞**

日光ケミカルズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 中原秀之）の、中央研究所所属の半澤将希研究員が、この度、日本油化学会関東支部より第 13 回「若手研究者奨励賞」と、日本化学会コロイドおよび界面化学部会が主催する第 76 回コロイドおよび界面化学討論会において「若手口頭講演賞」をダブル受賞したことを、お知らせいたします。



中央研究所 先端技術開発室 半澤研究員

■ 受賞の概要

日本油化学会関東支部 第 13 回若手研究者奨励賞

受賞研究：リン脂質膜上で培養された皮膚常在菌バイオフィルムの洗浄機構

本賞は、40 歳未満の研究者による研究を対象に、“多くの人に聞いていただきたい”研究成果や取り組みを、学会幹事による厳正な投票にて選出されます。

なお、12 月 15 日に開催される令和 7 年度第 3 回油化学セミナーにおいて、本研究について受賞講演が行われます。

第 76 回 コロイドおよび界面化学討論会 若手口頭講演賞

受賞研究：界面活性剤によるアクネ菌バイオフィルムの定量解明

本賞は、35 歳以下の若手研究者による口頭発表のうち、「新規性、重要性」「記述や発表における論理的正しさ」「プレゼンテーション、質疑応答」「発表者本人の寄与」などの審査基準で特に優れた発表に対して授与されます。

■ 研究内容

バイオフィルムは、微生物叢から自己分泌される細胞外高分子物質を基本構成要素としており、微生物の遍在性と自身の回復力により人間活動のあらゆる側面と相互作用します。とりわけ、健康や経済に悪影響を与えるバイオフィルムは、薬剤や機械力を駆使して制御しなければなりません。本研究では、界面活性剤や脂質が皮膚常在菌バイオフィルムの除去に及ぼしている物理化学作用の解明を目的としています。

第 63 回日本油化学会年会では、界面活性剤水溶液によるせん断流やモデル基板上に事前形成されたリン脂質膜が、皮膚常在菌バイオフィルムの形成や除去に及ぼす影響について発表いたしました。

第 76 回コロイドおよび界面化学討論会では、バイオサーファクタントの 1 種であるラムノリピッドとドデシル硫酸ナトリウムがアクネ菌バイオフィルム中に含まれる細胞外高分子物質や菌体に及ぼす物理化学作用の違いについて発表を行いました。

■ 受賞コメント

この度は、栄誉ある「若手研究者奨励賞」ならびに「若手口頭講演賞」をいただき大変光栄に存じます。関係者の方々に深く御礼申し上げます。過去の受賞者を拝見すると、第一線でご活躍されている方々が多く、身の引き締まる思いです。今後も、産業界と学术界に貢献できるよう、より一層精進いたします。

■ 受賞者のプロフィール

氏名：半澤 将希（はんざわ まさき）

所属：日光ケミカルズ株式会社 中央研究所 先端技術開発室 主任研究員 博士(工学)

専門：コロイド・界面化学

お問い合わせ先：

日光ケミカルズ株式会社

広報室 担当：塚田・曽根

本社：〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-8

E-mail： nk_communications@nikkolgroup.com